



第58期 中間株主通信 | 平成27年4月1日～平成27年9月30日



健康はキョーリンの願いです。

## 健康はキョーリンの願いです。

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、  
人々の健康に貢献する社会的使命を  
遂行します。

## Profile

### 持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。

### 医薬品事業

(新医薬品、後発医薬品)

### キョーリン製薬グループ

### ヘルスケア事業

(スキンケア、一般用医薬品他)



### 長期ビジョン「HOPE100」

(平成22年度～35年度)

HOPE: Aim for **H**ealth **O**f **P**eople and our **E**nterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、社内外に認められる健全な健康生活応援企業へと進化します。

### 中期経営計画「HOPE100—ステージ1—(平成22年度～27年度)」

#### 事業戦略 Strategy

医薬品事業を中核とするヘルスケア事業の多核化

#### 組織化戦略 Organization

グループ各社の社員にとって「働きがいNo.1企業」の実現を目指す

#### 成果目標 Performance

平成27年度  
連結売上高 1,202億円  
連結営業利益 460億円  
配当性向 30%を目標

## 長期ビジョン「HOPE100」の実現により 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。



代表取締役会長  
山下 正弘

代表取締役社長  
穂川 稔

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの平成27年4月1日から平成27年9月30日までの第58期第2四半期(以下「中間期」という)につきまして、事業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念の具現化に向け、当社グループの中核企業である杏林製薬(株)の創業100周年(平成35年)をみすえた長期ビジョン「HOPE100」及び中期経営計画「HOPE100-ステージ1-(平成22年度~27年度)」を策定し、その実現に真摯に取り組んでおります。

平成27年度は、その最終年度であり、より高いレベルでの数値目標達成と長期ビジョンの実現に向けて、次のステップとなる新中期経営計画「HOPE100-ステージ2-(平成28年度~31年度)」の策定を最重要課題と考えています。

平成27年6月に、山下正弘が代表取締役会長、穂川稔が新たに代表取締役社長に就任し、新経営体制がスタートいたしました。

当社グループは新体制の下、一層厳しさの増す経営環境下ではありますが、総力を結集し、さらなる企業価値向上に邁進してまいります。

引き続き、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 当中間期の概況

当中間期の国内医薬品業界は、薬価基準の改定や新薬創出加算製品の仮需反動の影響も一巡したことから、市場成長はみられたものの薬剤費抑制策が閣議決定されるなど、引き続き厳しい事業環境で推移しました。ヘルスケア事業では、景気の持ち直しは緩やかにとどまりました。

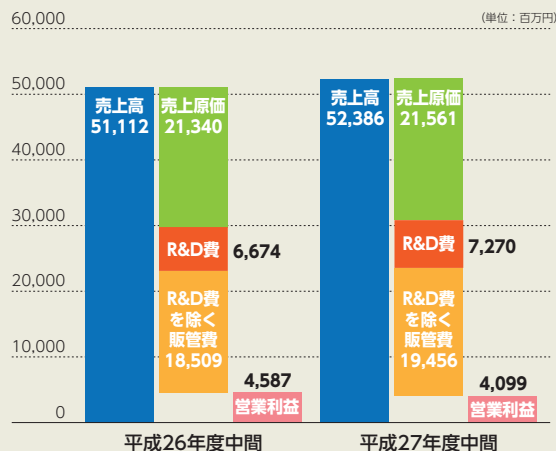
このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE100－ステージ1－（平成22年度～27年度）」の最終年度として、経営方針に「ファーム・コンプレックス・モデル（PCモデル）への取り組み促進」「ヘルスケア事業の成長加速化」を掲げ、様々な環境変化に対応できる事業戦略の再構築と新たな核となる事業の成長に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

この結果、新医薬品事業等の売上が前年同期を上回る実績で推移したことから、523億86百万円と前年同期比12億74百万円（2.5%増）の増収となりました。

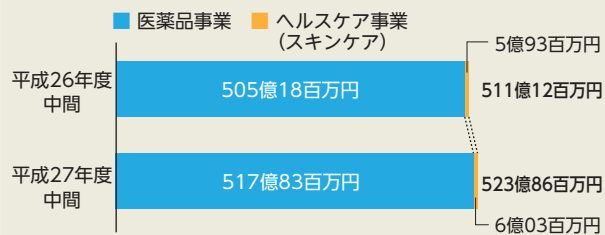
利益面では、原価率は前年同期に対して若干低下したことにより、売上総利益は10億53百万円増となりましたが、販売費及び一般管理費が前年同期に対して15億42百万円増加（内、研究開発費：5億95百万円増）したため、営業利益は40億99百万円（前年同期比10.6%減）、経常利益は42億66百万円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期（中間）純利益は29億67百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

なお、当中間配当金につきましては、1株につき20円をお支払いさせていただきます。

## 損益の概要



## セグメント別売上高



## 連結業績予想（通期）（平成27年5月13日公表数値）

売上高	<b>1,202億円</b> （前年比 6.3%増）
営業利益	<b>160億円</b> （前年比 8.6%増）
経常利益	<b>163億円</b> （前年比 5.2%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>115億円</b> （前年比 4.7%減）

## セグメントの状況

**国内新医薬品** 新薬群において、喘息治療配合剤「フルティフォーム」等の主力製品が伸長し、売上高は416億34百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

杏林製薬(株)では、特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)の医師、医療機関に営業活動を集中するFC(フランチャイズカスタマー)戦略を推進しております。本年度は主力製品の普及の最大化に努めるとともに、呼吸器領域の新製品であるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)治療剤「エクリラ ジェヌエア」を平成27年5月に発売しました。主力製品では、平成26年12月より長期投与が可能になった「フルティフォーム」のほか、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」も前年同期の売上を上回りましたが、長期収載品である潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」、去痰剤「ムコダイン」は前年同期を下回りました。

**海外新医薬品** 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米國アラガン社)」のロイヤリティ等の収入が前年同期を上回り、売上高は5億94百万円(前年同期比78.7%増)となりました。

また、杏林製薬(株)が平成27年8月に「イミダフェナシン」の台湾における独占的開発権、製造権及び販売権を供与するライセンス契約をシンモサ社(台湾)と締結いたしました。

**後発(ジェネリック)医薬品** 後発医薬品の使用促進策の浸透、さらにオーソライズド・ジェネリックの参入等の影響により市場が拡大するなか、自社販売の売上は増加したものの他社受託ビジネスが減少し、売上高は73億93百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

**一般用医薬品他** 主要製品である環境除菌・洗浄剤「ルピスタ」、哺乳びん・乳首・器具等の消毒剤「ミルトン」の伸長により環境衛生事業に関わる売上が増加し、売上高は21億60百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

この結果、当セグメントの売上高は517億83百万円(前年同期比2.5%増)となり、営業利益は39億53百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

研究開発の状況につきましては、自社創業、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント(新効能・効果取得、剤型追加)により、特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)における研究開発パイプラインの構築と拡充を推進しています。

国内開発の進捗状況としましては、遺伝子治療薬「Ad-SGE-REIC製剤」の悪性胸膜中皮腫を対象疾患とするPh(フェーズ) I/II臨床試験を平成27年7月より、耳鳴治療剤「KRP-209」のPh II再試験を同8月より開始しました。また、既存品のライフサイクルマネジメント(新剤型追加)においては、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレスOD錠(口腔内崩壊錠)」及び潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ顆粒94%」の製造販売承認を同8月に取得しました。なお、MSD(株)と共同販売に関する契約を締結しているアレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン」について、MSD(株)は同10月に製造販売承認を厚生労働省に申請いたしました。

自社創業におきましては、これまで創業研究所及び開発研究所の2箇所に分散していた国内の研究所を集約し、新研究開発拠点「わたらせ創業センター」として平成27年7月に本格稼働いたしました。研究機器・設備の充実に加えて、研究者にとって集中力の発揮、独創的な発想力の向上、コミュニケーションの活性化ができる研究環境を整備するとともに、製品と技術、それぞれを軸とするマトリックス組織に再編し創業研究体制を変革いたしました。これまでも増して、特定の疾患領域にフォーカスした新薬の創製、成長戦略に資する創業イノベーションを推進してまいります。

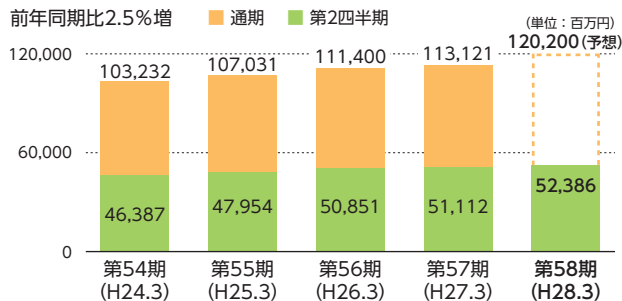
以上の結果、研究開発費は、前年同期に対して5億95百万円増加し、72億70百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

生産部門では、グループ生産体制の全体最適化、ローコストオペレーション等を推進しており、その一環として杏林製薬(株)岡谷工場の生産機能をキョーリン製薬グループ工場(株)に移転する予定です。

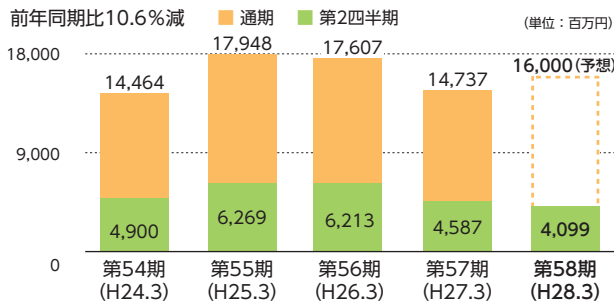
**ヘルスケア(スキンケア)事業** スキンケア製品を取り扱うドクタープログラム(株)では、企業間の競争は厳しい状況が継続するなか、売上は前年に対しほぼ横ばいで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は6億03百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は21百万円(前年同期は0百万円)となりました。

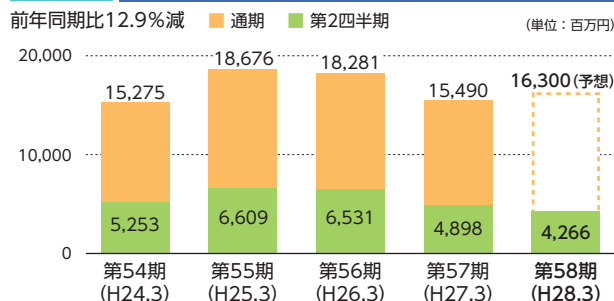
**売上高** 52,386百万円 ▶ 通期予想120,200百万円



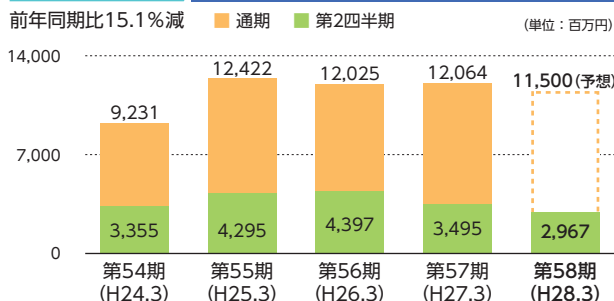
**営業利益** 4,099百万円 ▶ 通期予想16,000百万円



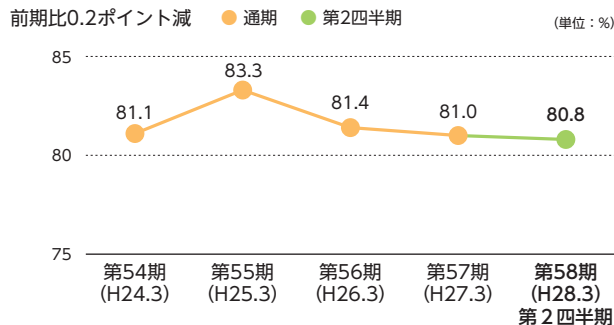
**経常利益** 4,266百万円 ▶ 通期予想16,300百万円



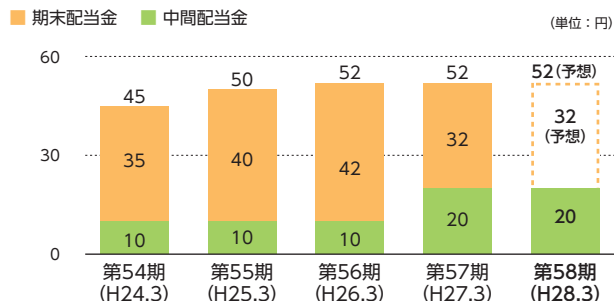
**親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益** 2,967百万円 ▶ 通期予想11,500百万円



**自己資本比率** 80.8%



**配当金** 20円 ▶ 年間配当金予想52円



## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	124,080	129,064
固定資産	63,649	54,318
有形固定資産	23,535	19,374
無形固定資産	1,060	1,184
投資その他の資産	39,053	33,760
資産合計	187,729	183,383
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	27,591	27,773
固定負債	8,491	7,009
負債合計	36,083	34,782
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	141,375	140,518
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	138,153	137,577
自己株式	△2,230	△2,511
その他の包括利益累計額	10,271	8,082
純資産合計	151,646	148,600
負債純資産合計	187,729	183,383

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	52,386	51,112
売上原価	21,561	21,340
売上総利益	30,825	29,771
販売費及び一般管理費	26,726	25,183
営業利益	4,099	4,587
営業外収益	206	315
営業外費用	39	5
経常利益	4,266	4,898
特別利益	0	29
特別損失	107	32
税金等調整前四半期純利益	4,159	4,894
法人税、住民税及び事業税	936	1,692
法人税等調整額	255	△292
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,967	3,495

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,954	5,004
投資活動による キャッシュ・フロー	997	△5,823
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,056	△3,945
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	△33
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	7,893	△4,798
現金及び現金同等物の 期首残高	35,727	35,828
現金及び現金同等物の 四半期末残高	43,621	31,029

主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。

新発売



COPD (慢性閉塞性肺疾患) 治療剤  
**エクリラ®** ジェヌエア®



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤  
**キプロレス®**



気道粘液調整・粘膜正常化剤  
**ムコタイン®**



喘息治療配合剤  
**フルティフォーム®**



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤  
**ペンタサ®**



過活動膀胱治療剤  
**ウリトス®**

脳血管障害・気管支喘息改善剤  
**ケタス**

胃炎・胃潰瘍治療剤  
**アプレース**

広範囲抗菌剤  
**バクシダール**

哺乳びん殺菌消毒剤  
**ミルトン**

環境除菌・洗浄剤  
**ルビスタ**



(平成27年11月5日現在)

## Ph I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階	開発段階				
					フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
エクリラジェメエア KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内					H27年5月 上市
KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	国内					H25年8月
KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力、高い安全性が期待される	国内					H27年4月
KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社		国内					H26年6月
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内					H27年8月
KRP-203※	自己免疫疾患 臓器移植	自社	S1P受容体アゴニスト 新規メカニズムを有する免疫調整剤 既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	海外					ノバルティス
KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱のβ3受容体に作用することで膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	国内					H27年1月
Ad-SGE-REIC	悪性胸腺中皮腫	岡山大学	新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	国内					H27年7月 Ph I / II

※KRP-203については、IBDの開発を中止し、移植片対宿主病(GvHD)での開発集中を決定。

### 【参考】

デスロラタジン	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬(MSD株の関連会社と日本国内における共同販売契約締結)	国内						MSD株
---------	--	---	----	--	--	--	--	--	------

### 開発プロセスの概要

#### フェーズⅠ

##### (第Ⅰ相試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性のテストを行う臨床試験

#### フェーズⅡ

##### (第Ⅱ相試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認する臨床試験

#### フェーズⅢ

##### (第Ⅲ相試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性及び安全性をチェックする臨床試験

#### 申請

有効性・安全性が確認された新薬の製造販売承認を厚生労働省に申請

## 会社概要 (平成27年9月30日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	119名(連結2,448名)

## 株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,721,854株 (自己株式225,774株を除く)
当中間期末株主数	6,513名

## 役員 (平成27年12月1日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ 山 下 正 弘
代表取締役会長	ほ がわ み の る 穂 川 稔
代表取締役社長	みや した とみ とも 朝 宮 下 三 朝
取締役	まつ もと とみ はる 春 松 本 臣 春
常務取締役	おぎ はら ゆたか 豊 荻 原 かつ 勝
取締役	こ むろ まさ 正 勝 小 室 正 勝
取締役	おぎ はら しげる 茂 荻 原 の 野 国 雄
取締役	かじ の お くに 国 雄 梶 野 仙 次
取締役(社外)	お ぎ き せん じ 次 尾 崎 仙 次
取締役(社外)	しか ない の り 徳 行 鹿 内 徳 行
取締役(社外)	たか はし たかし 卓 高 橋 卓
常勤監査役	みや した せい ゆう 佑 宮 下 征 佑
常勤監査役	は ま ひろ あき 晃 羽 磨 寛 晃
監査役(社外)	お ばた まさ じ 二 小 幡 雅 二
監査役(社外)	こ にし ゆう じ 二 小 西 勇 二
監査役(社外)	やま ぐち たか お 央 山 口 隆 央

執行役員	い とう よう 伊 藤 洋
上席執行役員	よし た よし や 吉 田 与志也
執行役員	あ く つ けん じ 阿久津 賢 二
執行役員	おお の た みち ろう 大野田 道 郎

## キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

### 杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。新たな研究開発拠点である「わたらせ創薬センター」(写真左下)は平成27年7月開所いたしました。(写真右下は、主力工場である「能代工場」となります。)

#### 主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 |  
製造 | 販売



### キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

医薬品に関連する広告の企画制作等を中心に、多岐にわたるコミュニケーションビジネスを手掛けると共に、環境衛生事業に積極的に取り組み、健康生活応援企業を目指すグループの一員として社会に貢献していきます。

#### 主な事業内容

販売促進 | 広告物の企画制作 |  
環境衛生事業



### キョーリン製薬グループ工場株式会社

<http://www.kyorin-fc.co.jp/>

MSD(株)から取得した医薬品生産に関する資産をもとに、医療用医薬品の製造に関する事業を行っています。今後も高品質な製品の安定的提供、製造技術の向上とコスト効率化を目指していきます。

#### 主な事業内容

製造 | 販売



### キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

「信頼されるジェネリック医薬品企業」を目指し、品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、患者さんが安心して服用できる特色のある後発医薬品の提供に取り組んでいます。

#### 主な事業内容

研究開発 |  
製造 | 販売



### ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤としています。今後もこれまで市場に存在しなかった新しい製品を創造し、女性の美と健康に貢献していきます。

#### 主な事業内容

スキンケア製品の開発・販売



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月に開催  
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
(特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(お問合せ先) 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほ証券株式会社  
本店及び全国各支店

公告掲載紙 日本経済新聞

## (ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

### ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	会長ご挨拶、企業理念・ビジョン、コーポレートガバナンス、会社概要、組織図 等
事業内容	新医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品他、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	トップメッセージ、財務・業績、IRライブ러리、アニュアルレポート、株式情報 等
グループ経営戦略、CSR活動、お問い合わせ 等	

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

TEL:03-3525-4700(代)



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>はPROJECT- With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差し送らせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

